

くすりのしおり

620870501

2009年9月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。このために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：プロメライン軟膏 5万単位/g

主成分：プロメライン（Bromelain）

剤形：淡褐色の軟膏剤

シート記載：プロメライン軟膏 5万単位/g、20g



この薬の作用と効果について

蛋白分解酵素により蛋白質を分解し、創傷面の壊死組織を除去する作用があります。

通常、熱傷・褥瘡（床ずれ）・表在性各種潰瘍・挫傷・切開傷・切断傷・化膿創などの創傷面の壊死組織の分解、除去、清浄化およびそれに伴う治癒の促進に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・ 以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。
- ・ 妊娠または授乳中
- ・ 他に薬を使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、大衆薬も含めて他に使用中の医薬品に注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・ **あなたの用法・用量は** ：医療担当者記入 **《 》**
- ・ 通常、潰瘍面よりやや小さめのガーゼ、リントなどに適量の軟膏をのばし、潰瘍辺縁になるべく触れないように塗布し、1日1回交換します。創傷面が清浄化し、新生肉芽組織の再生が認められた場合は使用を中止します。必ず指示された使用方法に従ってください。
- ・ 正常な皮膚に使用しないでください。粘膜面には慎重に使用してください。眼科用には使用しないでください。
- ・ 塗り忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く塗ってください。2回分を一度に塗ってはいけません。
- ・ 誤って多く塗った場合は、医師または薬剤師に相談してください。
- ・ 医師の指示なしに、自分の判断で塗るのを止めないでください。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、出血、疼痛、創縁のエロジオン（びらん）などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・ 呼吸困難、蕁麻疹、意識障害 [アナフィラキシーショック]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法その他

- ・ 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・ 未使用時はキャップをしてください。
- ・ 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

医療担当者記入欄 年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。